

「投資信託の販売会社における比較可能な共通 KPI」公表のお知らせ

コモンズ投信株式会社(本社:東京都港区、代表取締役社長:伊井哲朗、以下「コモンズ投信」)は、この度、金融庁が定める「投資信託の販売会社における比較可能な共通 KPI」における 2025 年 3 月末時点の実績を公表いたしました。

私たちコモンズ投信の「お客さま本位の業務運営」の精神は、当社の創業時からの企業文化として深く根付いていると自負しています。その原点は、自身がお客さまであつたら「こうして欲しいな」と思うサービスを常に心がけ、「今日よりも、よい明日」を考える長期的な資産形成を応援するサービスにこだわるところにあります。

この理念のもと、2025 年 3 月末時点で弊社に口座開設しているお客さまのうち、運用損益率がプラスになっているお客さまの割合は 94.0%となりました。

弊社では、創業以来一貫して「積立による資産形成」をお客さまにご提案して参りました。資産形成が成功するためには「積立を継続すること」が不可欠であるとの考えに基づき、お客さまに積立を継続していただける仕組みづくりにも取り組んでおります。

こうした取組みの成果を可視化するため 2019 年から公表している「5 年以上積立を継続されている顧客の、運用損益がプラスの比率の推移」では、2025 年 3 月末時点で 99.5%と、ほぼすべてのお客さまの資産がプラスになっています。

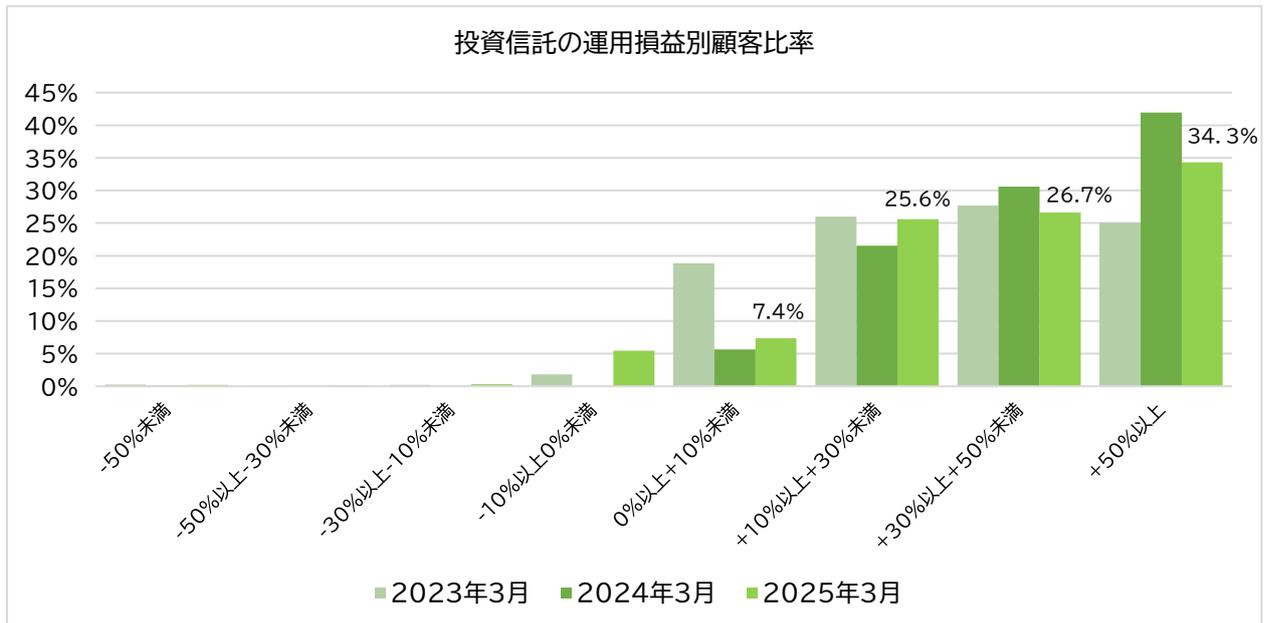
また、弊社で口座開設されているお客さまが、どれくらいの期間に亘って資産形成を実践されているかを表す新しい指標として、「保有期間継続率(口座開設年別)」を公表しております。

これらの取組みは、弊社の「フィデューシャリー・デューティ宣言」における「2. ② 私たちは、お客さまの短期的な利益の追求ではなく、お客さまの長期的な資産形成による豊かな生活の実現を重視します」の実践に向けた着実な一歩と考えております。

今後とも、弊社のミッションである「一人ひとりの未来を信じる力を合わせて、次の時代をともに拓く」の実現に向け、役職員一同、より一層の努力を続けて参ります。

1. 投資信託の運用損益別顧客比率

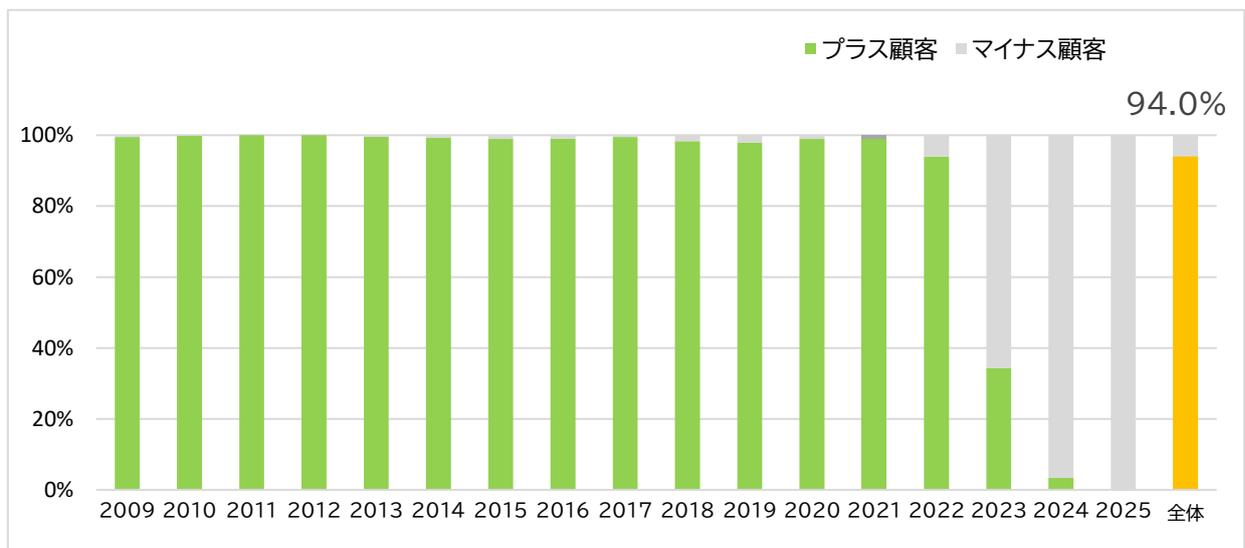
2025年3月末時点で弊社に口座開設しているお客さまのうち、運用損益率がプラスになっているお客さまの割合は94.0%となりました。



運用損益がプラスの顧客の割合の推移	2023年3月末	2024年3月末	2025年3月末
	97.7%	99.7%	94.0%

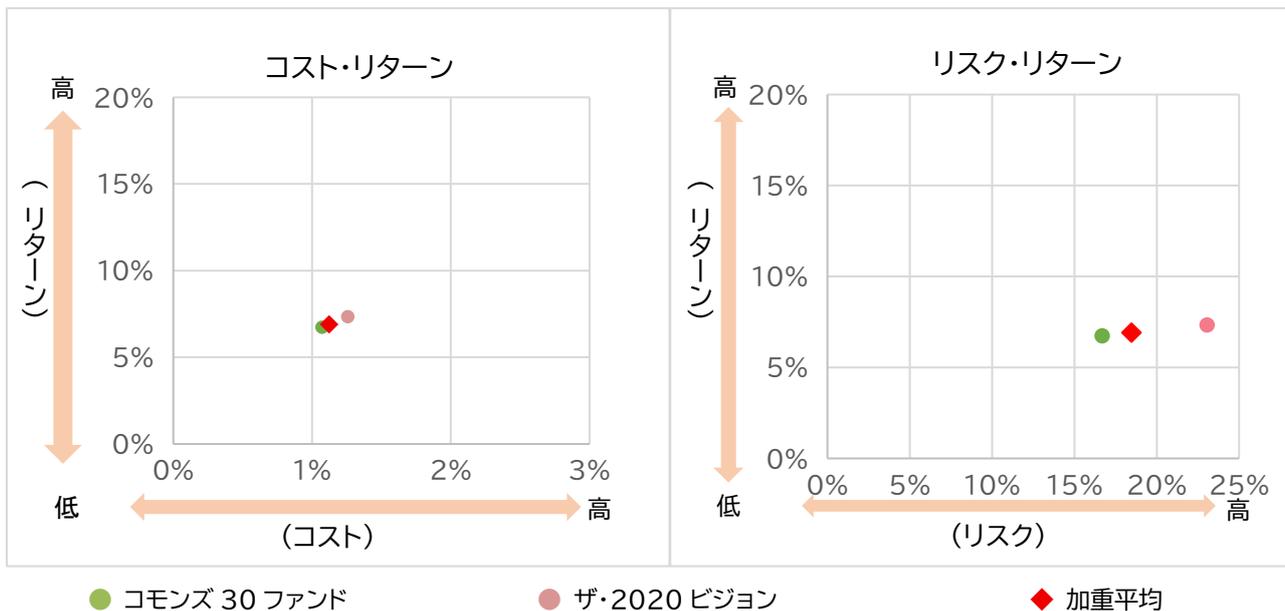
- ※ 各年3月末時点で残高がある個人口座が対象(相続等により購入データが存在しない顧客は集計対象外)
- ※ 運用損益は、基準日時点の評価金額+累計売付金額-累計買付金額にて算出(分配金(税引後)はすべて再投資され、累計買付金額には含まない)
- ※ 累計買付金額、累計売付金額は2009年1月19日(コモンズ30ファンド運用開始日)から、各年3月末までの通常の取引データを基に集計(移管等は含まない)
- ※ 運用損益率は、上記運用損益を基準日各年3月末時点の評価金額で除して算出

(参考1) 口座開設年別損益状況分布



2. 投資信託の預り残高上位 20 銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン

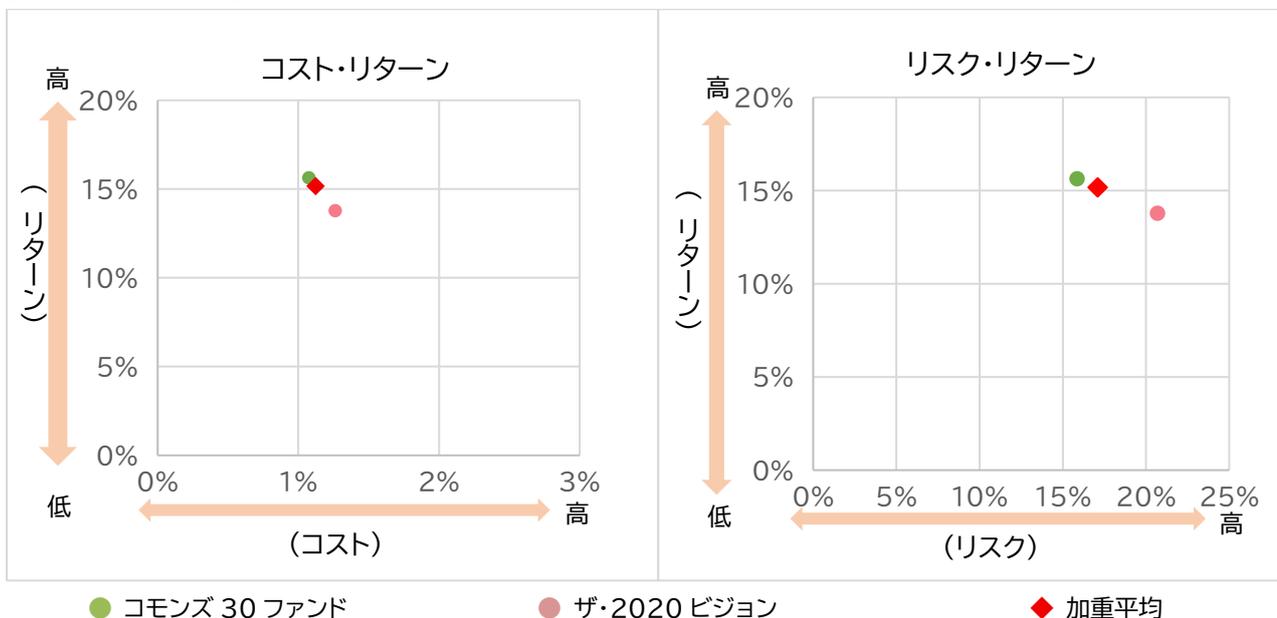
【2023年3月末】 コモンズ 30 ファンド、ザ・2020 ビジョンを対象に算出



残高加重平均	コスト	リターン
	1.12%	6.90%

残高加重平均	リスク	リターン
	18.47%	6.90%

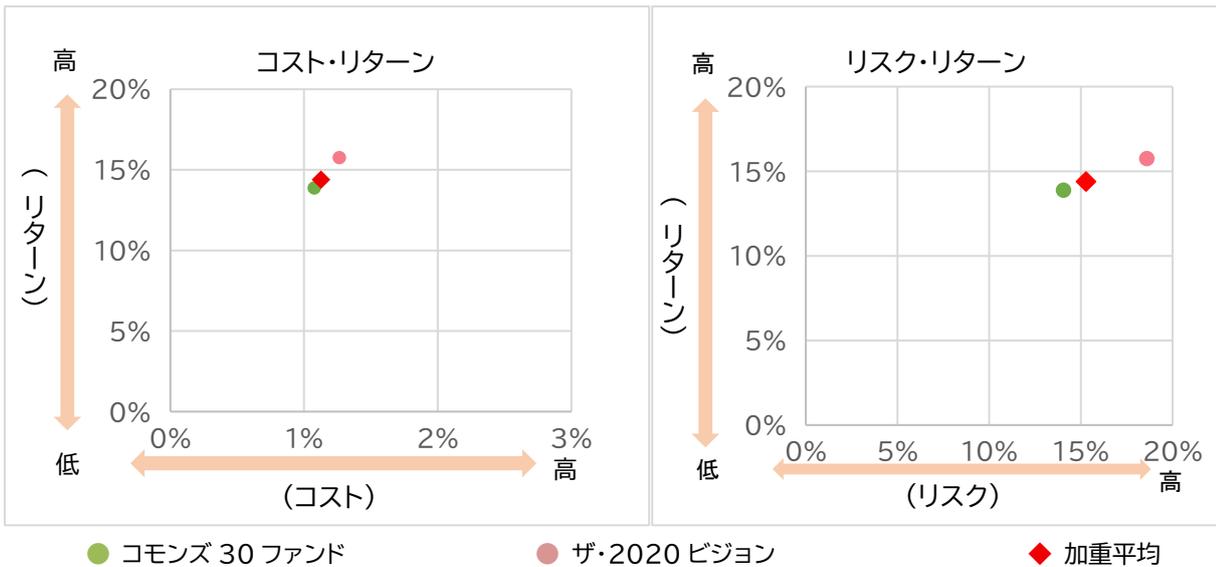
【2024年3月末】 コモンズ 30 ファンド、ザ・2020 ビジョンを対象に算出



残高加重平均	コスト	リターン
	1.12%	15.16%

残高加重平均	リスク	リターン
	17.10%	15.16%

【2025年3月】(コモンズ30ファンド、ザ・2020ビジョンを対象に算出)



残高加重平均	コスト	リターン
	1.13%	14.38%

残高加重平均	リスク	リターン
	15.29%	14.38%

- ※ コスト…信託報酬率を使用(販売手数料はありません)、コモンズ 30 ファンドは 0.98%(税抜)、ザ・2020 ビジョンは 1.15%(税抜)、両ファンドとも純資産総額に応じて信託報酬が逓減する仕組みを採用
- ※ リターン…過去 5 年間のトータルリターン(年率換算)、騰落率算出に用いた基準価額は分配金再投資後(税引前)を使用
- ※ リスク…過去 5 年間の月次リターンの標準偏差(年率換算)、騰落率算出に用いた基準価額は分配金再投資後(税引前)を使用
- ※ 当資料で示した実績は過去の一定期間の実績を示したものであり、将来の運用成果を予想あるいは保証するものではありません

○取組みの見える化について

弊社では、創業以来一貫して「積立による資産形成」をお客さまにご提案して参りました。資産形成を成功させるためには「積立を継続すること」が不可欠であるとの考えに基づき、お客さまに積立を継続していただける仕組みづくりにも取り組んでおります。こうした取組みの成果を可視化するため、

(参考 1) 口座開設年別損益状況分布

(参考 2) 「コモンズ投信年代別口座比率とつみたてプラン利用率」

(参考 3) 「平均積立年数」

(参考 4) 「保有期間継続率(口座開設年別)」

(参考 5) 「運用損益がプラスの顧客比率の推移」「5年以上積立を継続されている顧客の、運用損益がプラスの比率の推移」

を公表しております。

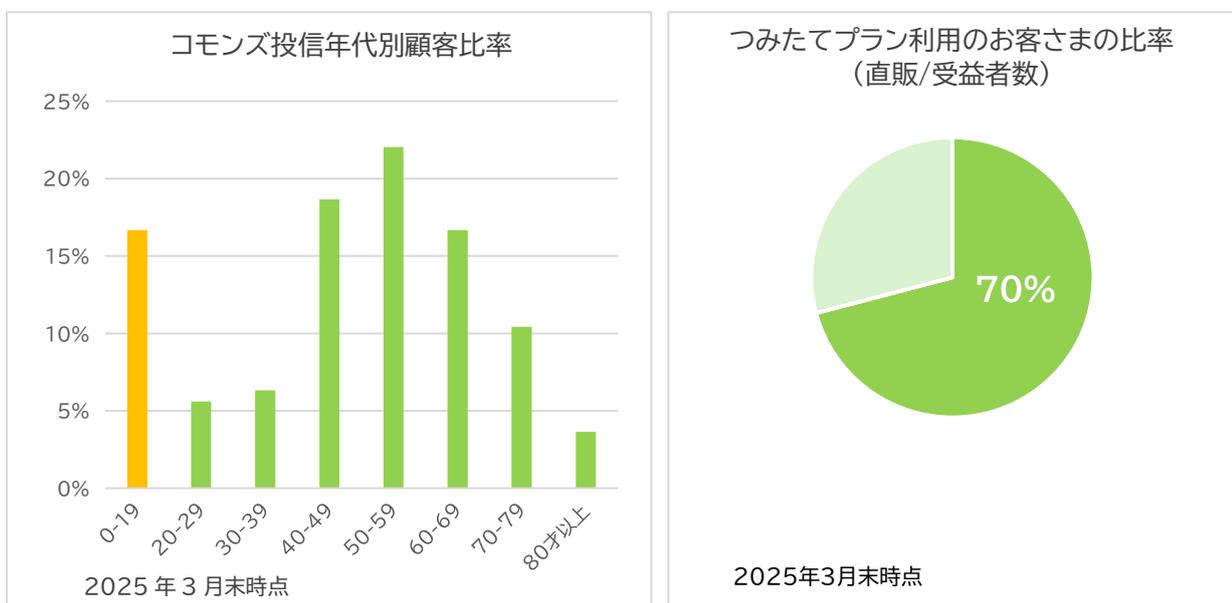
(参考 2)「コモンズ投信年代別口座比率とつみたてプラン利用率」からわかるように、コモンズ投信で口座開設しているお客さまは 30～50 歳代の現役世代が約 5 割、そのお子さま世代である 20 歳未満を合わせると約 7 割となっており、ほとんどの方がつみたてプランを利用した資産形成を実践されています。

また、(参考 4)「保有期間継続率(口座開設年別)」では、お客さまがファンドを購入した月から直近 12 月末までの期間において、お客さまがファンドを保有していた月数を「継続率」で表し、口座開設年別に継続率の平均を算出しました。2009 年に口座開設いただいたお客さまの 7 割以上が、16 年経過した今でも継続して資産形成を実践されています。

その結果、(参考 5)「運用損益がプラスの顧客比率の推移」を見ると、相場状況による年ごとのばらつきはあるものの、プラスの比率が高くなっています。さらに、5 年以上積立を継続されている方においては、どのタイミングをとっても、ほぼ全員がプラスの結果となっています。

弊社で口座開設していただいている方の多くが「積立投資による資産形成」を実践され、成果を上げておられます。こうした実績を今後も積み重ね、お客さまの最善の利益に貢献して参ります。

(参考 2) コモンズ投信年代別口座比率とつみたてプラン利用率



(参考 3) 平均積立年数: **6.1** 年

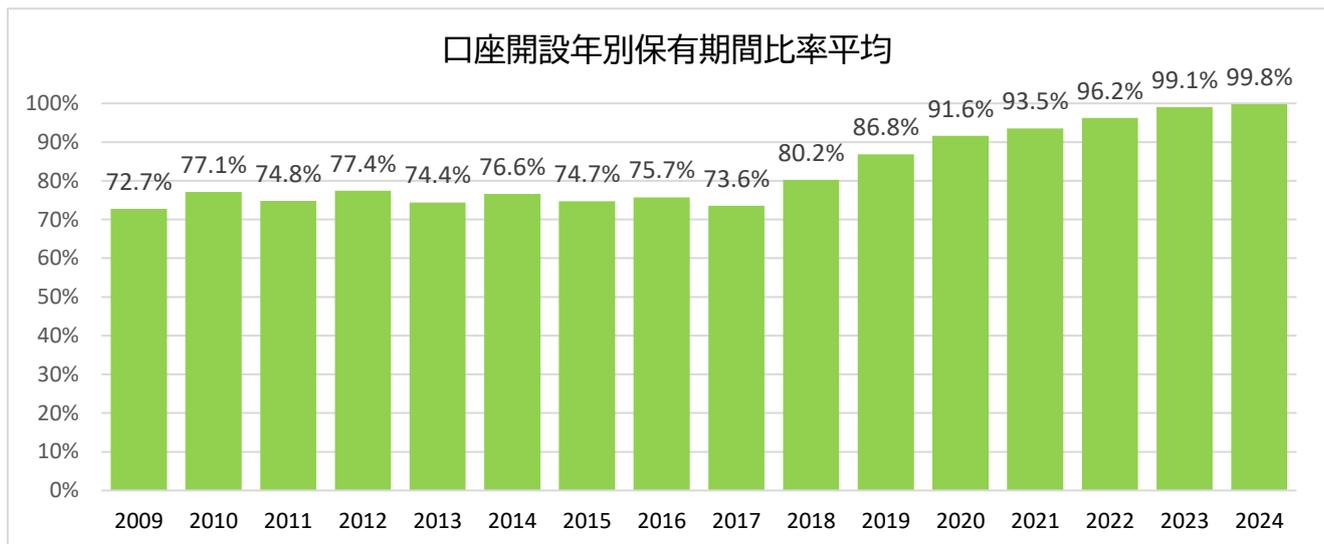
※ 2025 年 3 月末までに「つみたてプラン」を利用したことがあるお客さまの平均積立年数。

(参考 4) 保有期間継続率(口座開設年別)

お客さまがファンドを購入した月から直近年度末までの期間において、お客さまがファンドを保有していた月数を「継続率」で表し、口座開設年別に継続率の平均を算出しました。

2009 年のコモンズ 30 ファンド運用開始時点に口座開設されたお客さまの 7 割以上が、16 年経過した今でも継続して資産形成を実践されています。2010 年以降も多くの年において、約 7 割以上の方が継続して資産形成を実践されています。

こうした状況も、顧客損益プラス比率の高さにつながっていると考えております。



※ 保有期間継続率=(お客さまのファンド保有期間)÷(お客さまの初回購入年月から直近 12 月末までの月数)

※ 保有期間はコモンズ 30 ファンド、ザ・2020 ビジョンのいずれかを月末時点で保有していた月数をカウント

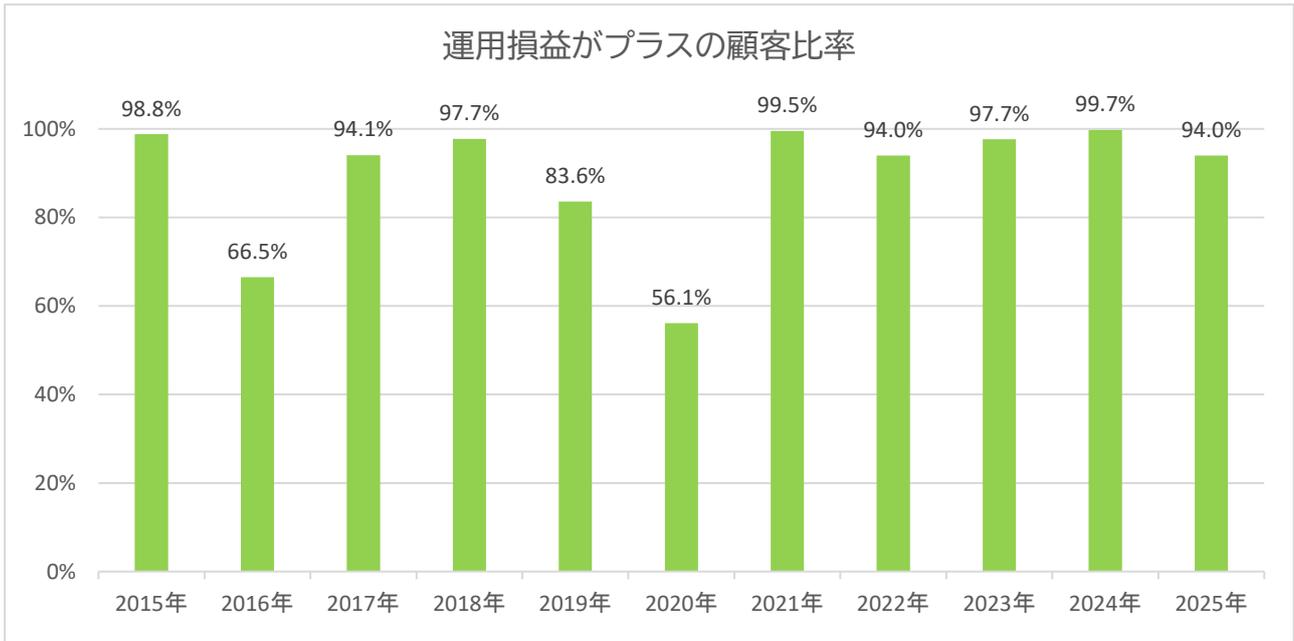
※ 各年 12 月末時点でコモンズ投信で口座開設し、ファンドの購入履歴がある個人口座を対象

(参考 5) 「運用損益がプラスの顧客比率の推移」と「5 年以上積立を継続されている顧客の、運用損益がプラスの比率の推移」

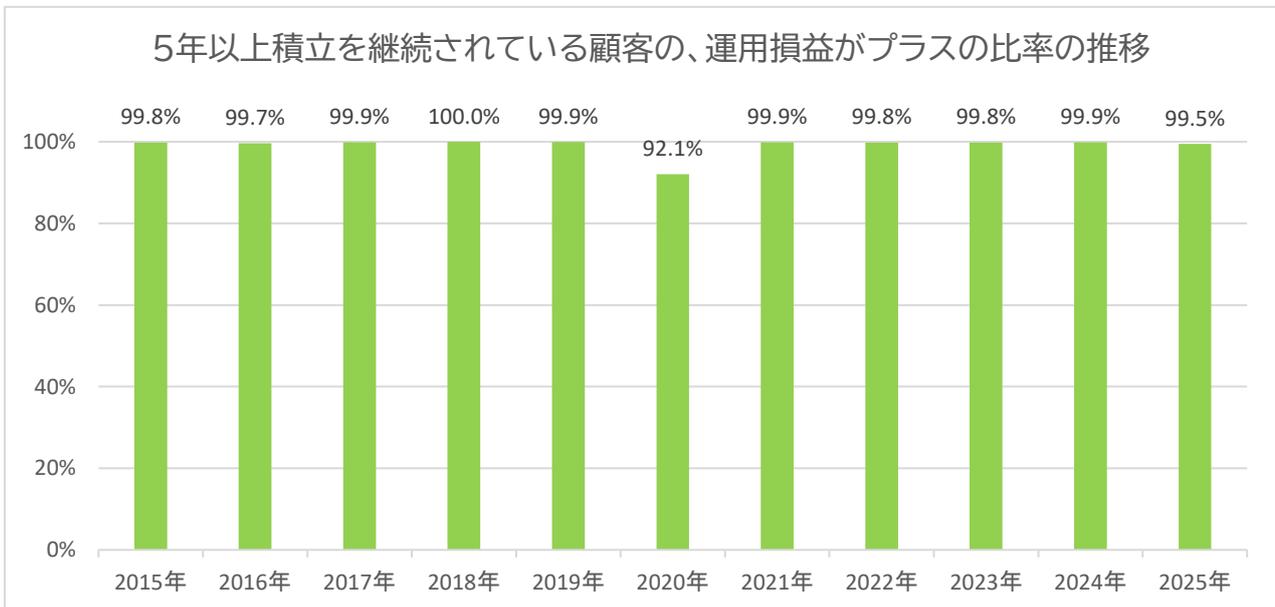
2015 年以降、年度末時点で運用損益がプラスの顧客比率は、その時々々の外部環境やマーケットの変動要因によって、ばらつきが生まれます。

一方、積立を 5 年以上継続されているお客さまを対象とした場合、運用損益がプラスの顧客比率は、どの時点においても、引き続き高水準となっております。

こうした実績を、より多くのお客さまにお届けできるよう、今後も積立を活用した長期の資産形成に向けた取り組みを推進して参ります。



- ※ 各年 3 月末時点で残高がある個人口座が対象(相続等により購入データが存在しない顧客は集計対象外)
- ※ 運用損益は、基準日時点の評価金額 + 累計売付金額 - 累計買付金額にて算出(分配金(税引後)はすべて再投資され、累計買付金額には含まない)
- ※ 累計買付金額、累計売付金額は 2009 年 1 月 19 日(コモンズ 30 ファンド運用開始日)から、各年 3 月末までの通常の取引データを基に集計(移管等は含まない)
- ※ 運用損益率は、上記運用損益を基準日各年 3 月末時点の評価金額で除して算出



- ※ 2015 年 3 月末時点より、各基準日時点において、5 年以上継続して積立をされている方(積立とスポットを併用されている方も含む)を対象に運用損益がプラスのお客さまの比率を算出

本件に関する問い合わせ先 : マーケティング部 福本
(03-5860-5709, miho.fukumoto@commons30.jp)

コモنز 30 ファンド(30F)、ザ・2020 ビジョン(20V)の費用について

購入時手数料	当社で購入される場合は、ありません。
換金時手数料	ありません。
運用管理費用 (信託報酬)	(30F の場合)ファンドの純資産総額に年 1.078%(消費税込)を上限とした率を乗じて得た額とします。なお、基準価額は信託報酬控除後のものです。 (20V の場合)ファンドの純資産総額に年 1.265%(消費税込)を上限とした率を乗じて得た額とします。なお、基準価額は信託報酬控除後のものです。 (共通)信託報酬は、純資産総額の一定の増加により逓減する仕組みになっています。
信託財産留保額	ありません。
その他の費用・手数料	当ファンドに組み入れる有価証券等を売買する際の売買委託手数料およびこれにかかる消費税等相当額などの実費が投資信託財産より控除されます。また、目論見書・運用報告書等作成費用、監査費用、信託事務に要する諸費用等として純資産総額の 0.11%(消費税込)を上限として投資信託財産より控除されます。 ※上記の手数料(費用)等の合計額については、保有期間に応じて異なりますので、上限額等を事前に示すことができません。

コモنز 30 ファンド、ザ・2020 ビジョンのリスクについて(共通)

当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資するため、その基準価額は変動します。したがって、お客さま(受益者)の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割込むことがあります。委託会社の運用により生じるこうした基準価額の変動による損益は、すべてお客さま(受益者)に帰属します。なお、投資信託は預貯金と異なります。

※リスク要因は、上記に限定されるものではありません。詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

【ご留意事項】

投資信託は値動きのある有価証券等に投資しますので基準価額は変動します。その結果、基準価額が下落し投資元本を割り込むことがあります。また、投資信託は信託報酬等の諸費用がかかります。投資信託のリスク、費用については投資信託説明書(交付目論見書)に詳しく記載されております。ご購入の際は、必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容を十分にご確認いただき、ご自身でご判断ください。

コモنز投信株式会社
 金融商品取引業者
 関東財務局長(金商)第 2061 号
 加入協会 一般社団法人投資信託協会
 〒107-0062 東京都港区南青山 2-5-17
 ポーラ青山ビル 16 階

